

京都精華大学 芸術学部 造形学科 特任教員公募要領

募集学部・学科	芸術学部 造形学科 テキスタイル専攻
職位及び人員	特任教員(教授、准教授または講師)1名
専門分野・領域	芸術・テキスタイル
募集の経緯	芸術学部造形学科テキスタイル専攻では、伝統的な染織技法などの徹底した基礎の習得と応用実習として個々の新たな表現の可能性を追求しています。今日の多様化する芸術表現の中にあつて、伝統と革新、両方の経験を併せ持ち、学生のニーズに対応できる人材が必要です。伝統的な染色技術に関する知識と実技能力を有し、着物製作やインスタレーションへの展開などの幅広い発表活動をしている方を募集します。
就業予定日	2027 年 4 月 1 日
任用期間	1 年契約とする。 ただし、任用が引き続き必要と認められる場合は、法人規程に基づき 5 年※を上限として契約を更新することがある。 ※2013 年(平成 25 年)4 月以降から本法人に 5 年以上継続して勤務されている方は、その 5 年を超えた年数を契約上限の 5 年から差し引いた年数に読み替えます。
勤務地	京都精華大学 (京都市左京区)
業務内容	1) 学部専門科目(基礎実習、応用実習)、卒業制作、および大学院専門科目などを担当 2) 授業外における学生の指導 3) 学生の募集活動・入試に関わる業務 4) その他、学長をはじめ、副学長や学部長等の指示による教学関連業務
担当予定科目	「芸術造形実習(テキスタイル)」、「応用実習(テキスタイル)」、「卒業研究実習」、「芸術研究」等
応募資格	1) 本学の建学理念に賛同し、且つ大学での教育・研究および大学運営への関心が高い者 2) 大学における教育に情熱を持ち、学生の立場に立った指導及び大学運営に取り組める者 3) 芸術全般およびテキスタイル全般に精通し、伝統的な染織制作・着物制作などの実績があり、作品発表が豊富である者 4) 学部での共通教育に取り組める者 5) 大学における教員経験が豊富にある者 6) 国籍は問わないが、大学の運営業務および学生の教育指導を充分遂行できる日本語の運用能力を有する者 7) 他者と共同で授業を開発・運営できる協調性の高い者 8) 本学のダイバーシティ推進宣言に基づき、教育、研究、就労の各方面で学生、教職員の多様性を尊重できる者 9) 週4日の勤務が可能な者 10) 関連分野の修士以上の学位(Ph.D を含む)、もしくはそれと同等の学識・業績を有する者 * 本学ではダイバーシティ推進宣言を表明し、ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究・就業環境の整備を推進しております。教員公募においても女性及び外国籍研究者の応募を歓迎します。
参考 URL ※必ずご確認の上、ご応募ください。	建学理念 https://www.kyoto-seika.ac.jp/about/idea/ 求める教員像と教員組織の編成方針 https://www.kyoto-seika.ac.jp/about/report/gjh1lq00000029dg-att/gjh1lq0000005tgo.pdf ダイバーシティ推進宣言

	http://www.kyoto-seika.ac.jp/about/diversity.html 本学のカリキュラム、各科目の内容 セイカ・ポータル「学習のてびき」「シラバス照会」 https://portal.kyoto-seika.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
待遇	本棒年額 461 万円 ～ 568 万円 ※給与月額とは本棒年額の 1/15 になります。 (例)教授 週 4 日勤務の場合…月額 378,000 円、週 3 日勤務の場合…月額 325,000 円 (例)准教授 週 4 日勤務の場合…月額 366,000 円、週 3 日勤務の場合…月額 316,000 円 (例)講師 週 4 日勤務の場合…月額 354,000 円、週 3 日勤務の場合…月額 307,000 円 昇給制度 なし 賞与制度 あり 退職金制度 あり 通勤交通費支給制度 あり (月額 55,000 円上限) 定年制度 あり 健康保険 あり 厚生年金保険 あり 労災保険 あり 雇用保険 あり 勤務時間 09:00 ～ 17:30 休日・休暇 日曜日、日曜日以外で勤務日以外の日、祝日、年末年始(学年暦による。祝日が授業日となる場合あり) 年末年始休暇 2026 年度/2026 年 12 月 25 日～2027 年 1 月 3 日(予定) 有給休暇 有(所定労働日数に応じた日数) 待遇については学校法人京都精華大学の規程に基づく。
提出書類	以下、(ア)、(イ)、(ウ)の3点を必ず提出してください。 ・ 電子応募 ※JREC-IN Portal の Web 応募機能での提出 (ア) 履歴書、業績書(本学所定の様式、履歴書は写真データ添付。業績書は著書、論文、学会発表、研究費獲得状況等に分類し、論文については査読付きのものとその他に分類すること。所属学会、社会的活動についても記載すること) 1 部 (イ) 志望動機および着任後の教育・研究の抱負(2000 字程度) ※様式は JREC-IN 本公募ページからダウンロードしてください ・ 郵送書類 (ウ) 研究業績資料(著書・学術論文・作品など) ・主要著書等の印刷物、主要論文の別刷り 5 編(コピー可)それぞれに A4 判用紙 400 字程度の要旨を付けること または、 ・作品ポートフォリオ(作品はポートフォリオ形式にまとめ提出、3 冊以内) ※選考の過程において、追加書類の提出をお願いする場合があります。 ＜応募の留意事項＞ 応募書類(ア)、(イ)は、JREC-IN Portal の Web 応募機能での提出(電子データ)です。 ファイル名は以下のようにご提出ください。 (ア)「rrekisyo-gyosekisyo-sei-mei.docx」 例:精華 太郎さんの場合「rrekisyo-gyosekisyo-seika-taro.docx」

	(イ)「siboudouki-hofu-sei-mei.docx」 例:精華 太郎さんの場合「siboudouki-hofu-seika-taro.docx」 応募書類(ウ)は郵送で以下提出先までご提出ください。
郵送書類提出先	〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町 137 番地 京都精華大学 学長 宛 郵送書類は書留またはレターパックにより郵送し、封筒には「芸術学部 造形学科 特任教員応募書類在中」と朱書きの上、封筒の表に住所・氏名を明記願います。
提出期日	2026 年 8 月 29 日(土)消印有効

【選考方法】

書類選考 : 選考結果は、可否に関わらず、2026 年 10 月 1 日までにメールでご連絡します。



第二次 面接、模擬授業 : 一次通過者のみ、本学にて実施いたします。



第三次 面接 : 二次通過者のみ、本学にて実施いたします。

※選考に関する通知は履歴書に記載されているメールアドレスまたは電話番号に連絡いたします。

※選考の際の旅費・宿泊費等は支給しませんので、ご了承ください。

※応募書類に記載された個人情報本選考のためにのみ使用し、これ以外の目的で利用いたしません(ただし採用者は人事管理にも利用いたします)。また、提出書類は原則として返却いたしません。著書などの返却を希望される場合は、応募の際に、宅配便の着払いの用紙(必要事項記入済み)を貼った封筒を同封してください。それがない場合は返却いたしかねますので、ご注意ください。

【お問い合わせ】

京都精華大学 学長室グループ

平日 9:00~17:30(土日祝休み)

MAIL poffice@kyoto-seika.ac.jp TEL:075-702-5317

以上